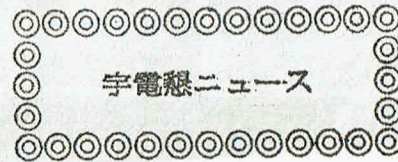


第41号

名古屋大学空電研究所発行



宇電懇ニュース

昭和53年7月24日

1. 運営委員会報告

昭和53年7月20日(木)12時より東京天文台において開催された。

出席者：田中、赤羽、森本、海部、平林、会津、鰐目、石黒、小川・・・運営委員
河鱒、長根、宮地、井上、福井、鷹野、渡辺

(1) 諸報告

田中運営委員長よりの諸報告は以下のとおりです。

イ) 現地の状況

懸案のテレビ難視聴対策としての共同受信施設は東京天文台の責任において設置することとなり、6月末に完成した。大型電波望遠鏡計画に対する地元住民の協力を引き続き要請しつつある。
本工事のための測量が7月4日から、ボーリング等地盤調査が7月10日から開始された。9月末ごろには設計を終え、できれば今年末には本工事に着工できることを期待している。

ロ) 装置関係

昭和54年度概算要求がなされ、一方では昭和53年度分の契約事務が進行している。

(2) 体制問題について

東京天文台に大型電波望遠鏡連絡協議会(仮称)が設置されることになっているのに鑑み、日本学術会議天文学研究連絡委員会電波望遠鏡小委員会は第11期には存続させる意義がないのではないかという意見が大勢を行めた。

(3) 井口基金について

53年度宇電懇総会における決議に従い、井口基金の使い方について検討した。その結果先ず本年10月から来
年3月までの6ヶ月間、電波天文関係のO.D.1名に対して月額3万円の援助を行うこととした。詳細は本ニ
ュースに掲載。選考は運営委員会にて行なう。なお54年4月からは改めて公募を行なう。

(2) 体制問題について
東京天文台に大型電波望遠鏡連絡協議会（仮称）が設置されることになっているのに鑑み、日本学術会議天文学研究連絡委員会電波望遠鏡小委員会は第11期には存続させる意義がないのではないかという意見が大勢を行めた。

(3) 井口基金について

53年度宇電懇総会における決議に従い、井口基金の使い方について検討した。その結果先ず本年10月から来
年3月までの6ヶ月間、電波天文関係のO. D. 1名に対して月額3万円の援助を行うこととした。詳細は本ニ
ュースに掲載。選考は運営委員会にて行なう。なお54年4月からは改めて公募を行なう。

(4) 宇電懇シンポジウムについて

名古屋近辺において行なわれる予定の「装置に関するシンポジウム（仮称）」のプログラム編成の世話役は名大
理小川氏が当ることとなった。

(5) 科学研究費総合研究について

来年度は宇電懇プロパーの総研を考えてはどうか、という点で意見の一致を見た。具体的な検討は名大空電研
目氏が行なうこととなった。



2. 井口基金についての御知らせ

井口哲夫氏が御亡くなりになって間も無いころ、御遺族から「故人と同じような境遇で研究を続けている人」に役立ててほしいということで金50万円預かりました。その後宇電懇総会等でその使用方法について皆様に御相談して参りましたが、仲々成案が得られませんでした。本年5月に至り、宇電懇総会において電波天文関係のO. D. への財政的援助として支出し具体的な方法は宇電懇運営委員会にて考え、その運用は運営委員会に一任することが決定いたしました。それを受けて、昭和53年7月20日の運営委員会において下記の要領で公募を行うこととなりましたので概当者は御応募下さい。なお、この援助の主旨は、公的な財政的援助を受けていないO. D. が行なっているアルバイト等を一つでも減らしてその分を研究にあてていただくものであることを銘記して下さい。

◎募集人員： 1名

◎応募資格：電波天文学を研究しているO. D. で、公的な財政援助を受けていない人。

◎支給期間・支給額：昭和53年10月より昭和54年3月までの6ヶ月間。毎月参万円づつ合計拾八万円。

◎返還義務： 無し。

◎応募方法：本人の履歴書、現状に関する簡単な説明書を添付して下記に申し込むこと。自薦、他薦自由。

〒442 豊川市穂ノ原3-13 名古屋大学空電研究所

宇電懇事務局 石黒正人

◎メ切：昭和53年8月31日（木）

◎選考：昭和53年7月20日における宇電懇運営委員会において定めた方法により、運営委員会が決定する。

3. 事務局よりの御知らせ

獨事務局長渡辺（名大空電研）は本年8月末より1年間、米国海洋大気圏局（NOAA）Environmental Laboratories に出張いたしますので、事務局長は石黒正人氏（名大空電研）となり

◎メモ：昭和53年8月31日（木）

◎選考：昭和53年7月20日における宇電懇運営委員会において定めた方法により、運営委員会が決定する。

3. 事務局よりの御知らせ

現事務局長渡辺（名大空電研）は本年8月末より1年間、米国海洋大気圏局（NOAA）Environmental Research Laboratories に出張いたしますので、事務局長は石黒正人氏（名大空電研）となります。

